

島根県看護協会

出雲支部会員数 2123名

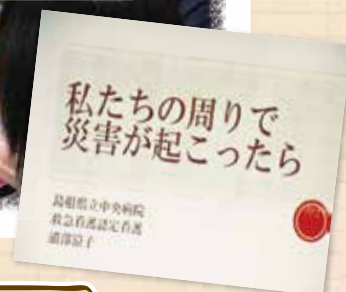
ひだまり



vol.64

2020年3月発行  
島根県出雲市下古志町1574-4  
島根県立こころの医療センター  
TEL (0853) 30-0556 FAX (0853) 30-2000  
発行責任者 和田 祐子

## 第36回看護活動交流会開催



### 私たちの周りで災害が起こったら

講師 島根県立中央病院 浦部 涼子氏

令和元年10月12日(土)島根県立こころの医療センター大会議室において開催しました。

前年度の活動交流会でのアンケートの結果、近年多発している自然災害に備えることをテーマとして開催しました。はじめに、講師により経験を踏まえた講義の後に8グループに分かれて意見交換を実施し、各グループの代表による発表会を行いました。

災害発生時の病院機能や看護師としての役割を理解し、それぞれの立場での役割と今後の課題について考えることができました。



## 活動交流会に参加して

島根県立こころの医療センター  
天野 典子

先日の台風19号の被害状況が日々ニュースで流れる中、災害は他人事でないと感じました。安全神話は通用しなくなっており、予測や準備をし災害に備えておく事の大切さを学びました。今回の研修を通し、自分の施設には地域からどのような事が求められるかも改めて考える機会となりました。看護職として自分の心身の安全を確保した上で患者さんや地域の人に寄り添っていきたいと思いました。

出雲市立総合医療センター  
三原 華英

今回の研修は自分の災害に対する意識の向上につながりました。実際の被災地の写真を見たり、浦部先生の講義を聴いたりして自分が住んでいる地域でこのようなことが起きたらと想像するとすごく怖くなりました。また他施設の職員の人と意見交換をする中で、今後の自分達の行動や心の持ち方についても話し合え、とても有意義な時間となりました。いつ起きてもおかしくない災害について日々心にとめながら、これからの業務にあたりたいです。

出雲市役所  
安食 直美

10月12日、こころの医療センターで開催された交流会に参加しました。救急看護認定看護師の浦部様から実際に被災地での活動の様子も伺い、その後グループで話しあいを行いました。災害弱者である障がい者、高齢者が避難する福祉避難所の設置状況、病院が罹災した際の入院患者の搬送、作中に地震があった時に、まず何をすべきなどグループ内でも疑問符が次々と出てきました。職場のマニュアルを再度確認し、皆が共通認識をもってチームとして対応していくことの大切さを痛感したところでした。

出雲徳洲会病院  
小松原美也子

「出雲は大社さんに守られている」台風の情報がある度に言っている言葉です。しかし、神様が守るのではなく、自分たちが病院を守っていかなければなりません。普段、病院で勤務している時は災害を意識せず働いています。もし明日災害が起こったら、自分が何をしたら良いかマニュアルを確認しておくことが必要だと学びました。今回の研修での学びを生かし、日々の業務やケアをマニュアルに沿って丁寧に行っていこうと思います。

## アンケートからの感想

- 災害に対して意識することができた。発生時の動きについて現状と課題が分かった。
- 実際の現場を踏まえての講演で参考になった。災害支援の生の声を聴くことができた。
- 今の病院の現状を振り返ることができた。ナースとして自分に出来ることを考えたい。
- 病院、病棟で勉強会をしようと思った。
- 病院の初期対応だけでなく、地域にも目を向けたい。
- いろいろな施設、年代、職種の方と交流を図ることができた。
- 各機関の役割を聞く中で、いろいろな体験を聞くことができた。
- いろいろな機関とどのように連携をとっていくべきか考えることができた。
- グループワークの時間がもう少し欲しかった。
- 病院・施設・地域が連携していく必要があると思った。
- 在宅医療や訪問看護を受けている方の災害時の対応を考えることができた。
- 状況によって対応が変わるが、いろんな状況を考えておかないと実際に動けないと感じた。スタッフだけでなく患者さんも平常ではないため、どのように安全を確保するのか、ということが大切だと思った。
- 大きな災害が少ない地域であるため、横での繋がりが少ないことが分かった。もっと出雲圏内での訓練が必要だと思った。



## 看護活動交流会を企画して

出雲市民病院  
清水 真弓

「私たちの周りで災害が起こったら」と題し、県立中央病院の浦部涼子看護師長に講義をして頂きました。実際の災害現場の写真を紹介され、想像以上で想定外の事が起こること、それに対応していく力が必要であることや、日頃から災害に対する心構えをしておくことが大事という事を学びました。グループワークでは活発な意見交換がなされ、更に学びを深めました。最後に、震災を経験した方の話を聞かせて頂き、とても充実した研修となりました。

## 令和2年度 島根県看護協会出雲支部総会・ 看護研修会のご案内

**1 日時**：令和2年6月20日(土)  
総会…9:00～9:50  
看護研修会…10:10～11:40

**2 場所**：朱鷺会館

**3 看護研修会について**

### 1) 内容

いま島根が面白い！  
～全国最先端の地から～

### 2) 講師

島根県在住のローカルジャーナリスト  
田中 輝美氏

### 研修目的

日本看護協会は「生活モデル」重視への転換に対応する看護提供体制を構築するとともに、新たな体制に対応できる看護の専門性の向上を図っている。医療の視点からも地域包括ケアシステムの構築など様々な地域へのアプローチが行われている。また医療以外の地域づくりとして近年では「関係人口が増加するような支援」が注目されている。

生活を支える様々な支援体制を理解することは看護の質を高めることに繋がると考え本研修を企画した。

# まちの 保健室

## 研修会



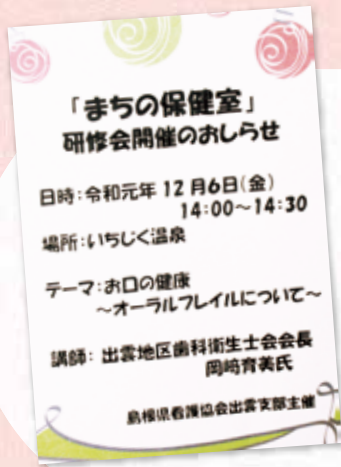
令和元年6月17日(月)

場所：いちじく温泉 13:30～  
「明日からはじめる介護予防運動」

講師：健康運動指導士  
上田 早苗氏



## 研修会



令和元年12月6日(金)

場所：いちじく温泉 14:00～  
「歯の健康について」

講師：歯科衛生士会  
岡崎 育美氏



### 活動内容

血圧・体脂肪・血管年齢などの測定を通し、市民の方の健康相談を行っています。

4月27日	出雲ドームdeスポーツ&健康フェスティバル	78名
6月9日	県立大学出雲キャンパスつわぶき祭	137名
10月26日	平田コミセン文化祭	52名
11月3日	JAしまね出雲地区本部農協まつり	114名
11月6日	四絡健康フェスティバル	20名
2月11日	荘原三世代交流カローリング大会	59名

合計460名の参加がありました



### 編集後記

日頃より支部活動にご協力いただきありがとうございます。今後も皆様にご理解いただけるように担当者一同頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお祈りします。まだまだ寒い日が続きますが体調管理を行い、暖かい春を待ちわびましょう。

担当：原 麻里 錦織 洋子 中山まゆみ